

# がん化学療法レジメン登録票

新規レジメン登録の際にはプロトコルの提出が必須です  
プロトコルがない場合は参考文献を提出してください

レジメン名	Mit+AraC
診療科名	血液腫瘍内科
診療科責任者名	末永孝生
適応がん種	再発・難治の急性骨髄性白血病
保険適応外の使用	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無

がん治療ワーキンググループ使用欄	
登録番号	AML-012
登録日・更新日	2019年6月25日
削除日	
出典	Eur J Haematol 1990; 44: 240-243.
入力者	伊勢崎 竜也

投与順に記入(抗がん剤のみ)

	薬剤名:一般名 (薬剤名:商品名) 希釈液	規格	投与量算出式	投与経路	投与時間	施行日
No.1	シタラピン (シタラピン点滴静注液) 生理食塩液	400,1000 mg 500 mL	2000mg/m2/回 (12時間毎に投与)	<input type="checkbox"/> IV <input checked="" type="checkbox"/> DIV <input checked="" type="checkbox"/> CVポート <input type="checkbox"/> 側管 <input type="checkbox"/> その他( )	3時間	day1-4
No.2	ミトキサントロン塩酸塩 (ノバントロン注) 生理食塩液	10 mg 100 mL	12mg/m2	<input type="checkbox"/> IV <input checked="" type="checkbox"/> DIV <input checked="" type="checkbox"/> CVポート <input type="checkbox"/> 側管 <input type="checkbox"/> その他( )	全開	day1-2

1コースの期間	*1
投与間隔の短縮規定	<input checked="" type="checkbox"/> 短縮可能( 1 日) ・ <input type="checkbox"/> 短縮不可能
計算後の投与量上限値	110%
計算後の投与量下限値	50%

減量・中止基準	<b>【投与開始基準】</b> 好中球数 $\geq 1000 / \mu\text{L}$ 血小板数 $\geq 5万 / \mu\text{L}$ LVEF $\geq 50\%$ Scr $\leq 1.5\text{mg/dL}$
前投薬	アプレピタント+5-HT3受容体拮抗薬+デキサメタゾン
その他の注意事項	*1 好中球、WBCおよび血小板が開始基準のカウントに回復してから1週間後 ・1-2コース実施する ・TLS予防としてラスブリカーゼ、フェブキシostatの使用を考慮する。

記入者	伊勢崎 竜也
確認者	北館 明宏